

令和7年度 小学生すくすくウォッチ 結果概要



交野市教育委員会
教育指導部 学校教育課

1 目的

子どもたち一人ひとりが、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力及び問題発見・解決能力等を向上させ、これからの予測困難な社会を生き抜く力を着実につけることを目的とする。

2 実施日

令和7年4月16日（水）～4月24日（木） ※期間内で学校が実施日を決定

3 実施内容

5年生 国語、算数、理科、わくわく問題（教科横断型問題）、アンケート

6年生 わくわく問題（教科横断型問題）、アンケート

教 員 アンケート

4 実施人数

5年生 63,508人（交野市：9校 668人）

6年生 64,739人（交野市：9校 638人）

5 各教科・わくわく問題（教科横断型問題）及びアンケートについて

■ 教科問題について

当該学年までに定着すべき学習内容で、基礎的な知識及び技能とともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を問う問題等

■ わくわく問題（教科横断型問題）について ※5・6年生共通問題

特定の教科の枠にとらわれず、複数の文書や資料から情報を読み取ったり、問いに対して判断や理由を明確にして自身の考えを表現したりする力を問う問題等

出題形式は、選択式及び短答式に加え、記述式

■ アンケートについて

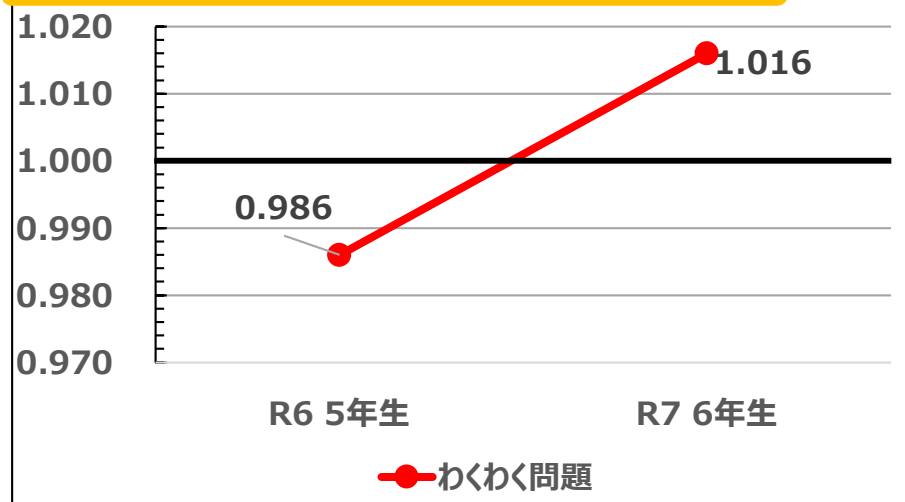
児童自身の目標に向かって頑張る力、気持ちをコントロールする力、人と関わる力、次の学びや生活にいかす力、好奇心などに関する内容や、学習状況、学級や授業等に関する意識等を問う

平均正答率 (%)

※ () 内の数値は大阪府比

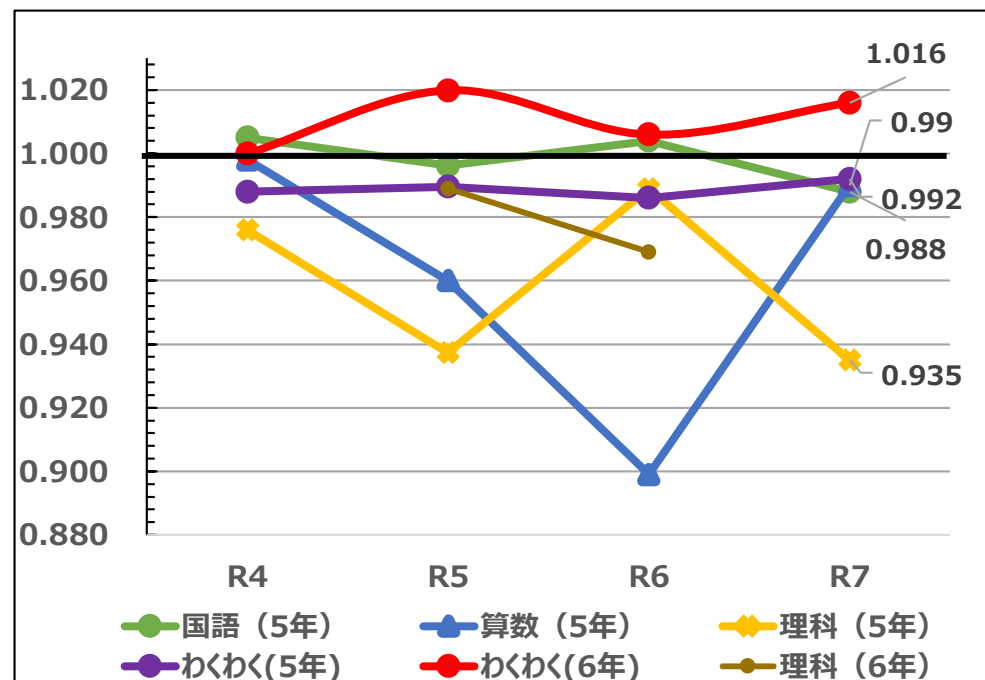
年度	5 年生				6 年生	
	国語	算数	理科	わくわく問題	理科	わくわく問題
R7	68.4 (-0.8)	67.2 (-0.7)	55.9 (-3.9)	66.0 (-0.5)	-	76.3 (1.2)
R6	73.7 (0.3)	33.0 (-3.7)	61.2 (-0.7)	57.1 (-0.8)	61.7 (-2.0)	68.9 (0.4)
R5	78.0 (-0.3)	36.0 (-1.5)	58.4 (-3.9)	66.4 (-0.7)	72.3 (-0.8)	77.1 (1.5)
R4	77.2 (0.4)	41.9 (-0.1)	70.5 (-1.7)	59.3 (-0.7)	-	69.1 (0.1)

わくわく問題対府比の同一集団における経年変化



対府比の経年変化

※大阪府の平均正答率を1.000としたときの、市の各教科等の平均正答率の推移



【5年生】

- ✓ R4～R7の4年間、算数・理科・わくわく問題において、正答率は大阪府平均を下回っている。
- ✓ 特に、算数・理科の対府比の経年変化は大きい。

【6年生】

- ✓ R4～R7の4年間、わくわく問題の正答率は大阪府平均を上回っている。
- ✓ 同一集団の経年比較でも、5年生時より6年生時の方が正答率は高くなっている。

国語（5年生）

学びの基盤となる言語能力のうち、「知識・技能」を中心に出題

分類・区分別集計結果

分類		区分	対象 問題数(問)	平均正答率(%)	
				交野市	大阪府
		全体	17	68.4	69.2
学習指導要領の領域等	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	15	② 71.7	72.4
		(2) 情報の扱い方に関する事項	1	68.9	68.9
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	1	① 18.7	21.9
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	—	—	—
		書くこと	5	69.5	69.1
		読むこと	—	—	—

※ 1つの問題が複数の区分に該当することがあります。

② 主語・述語の関係を正しく捉える ※2年生の学習内容

R7「新しい花だんが、校庭の南側に作った。」下線部の言葉を書き直す

市：47.3 府：48.4

「この町の特徴は、古い建物がたくさんあります。」

市：55.7 府：54.5

R6「気持ちを落ち着かせるためのよい方法は、大きく息をすいます。」

市：50.4 府：40.8

R5「今年の目標は、本をたくさん読みます。」

市：82.8 府：73.6

① ことわざ・故事成語の意味理解 ※3年生の学習内容

R7「大器晩成」市：18.7 府：21.9

R6「矛盾」市：47.9 府：51.3

R5「ちりも積もれば山となる」

市：86.4 府：87.2

「蛍雪の功」市：41.2 府：41.6

R4「雨降って地固まる」市：20.2 府：26.1

「五十歩百歩」市：41.3 府：55.0

② 修飾語と被修飾語の関係を正しく捉える ※3年生の学習内容

R7「晴れた空の下、青い大きなシートに座り…」言葉が説明するもの

市：71.7 府：76.9 ※6.3%が「空」を選択

R6「…赤いコップには花と鳥の模様が描かれている。」

市：87.8 府：86.4 ※2.8%が「花」を選択

R5「…大きな池には、コイがたくさんいます。」

市：80.7 府：79.6 ※5.0%が「コイ」を選択

話したり、書いたりする場面で、伝えたいことが相手によく分かるように、意識的に主語・述語の関係を考え、さらには修飾語を活用して、文章を作成させることができているか？

算数（5年生）

大阪の小学生が特に苦手としている領域を中心に出題

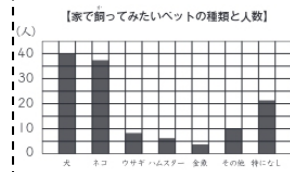
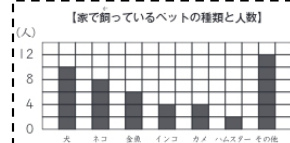
分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 問題数 (問)	平均正答率 (%)	
			交野市	大阪府
学習指導要領の領域等	全体	6	67.2	67.9
	数と計算	1	70.7	72.1
	図形	3	75.0	75.6
	測定／変化と関係	1	① 54.8	54.8
	データの活用	2	② 61.5	63.0
評価の観点	知識・技能	3	64.6	66.1
	思考・判断・表現	3	69.8	69.8

※ 1つの問題が複数の区分に該当することがあります。

② グラフを正しく読み取る ※3年生の学習内容

2 (1) グラフから読み取れることをすべて選択



- 【家で飼っているペットの種類と人数】と、【家で飼ってみたいペットの種類と人数】のどちらも「犬」と答えた人が一番多い。
- 【家で飼ってみたいペットの種類と人数】で「ネコ」と答えた人は、35人以下である。
- アンケートの【1】で①と答えた人の中で「金魚」と答えた人は、「カメ」と答えた人よりも2人多い。
- 「ハムスターを家で飼っている」と答えた人は1人である。

市 : 49.0 府 : 52.3

「1,3」を選択 (正答) : 11.2

「1」を選択 (準正答) : 9.1

「3」を選択 (準正答) : 28.7

類似問題

R6

市 : 39.8

府 : 44.6

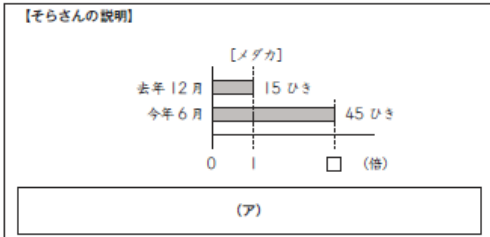
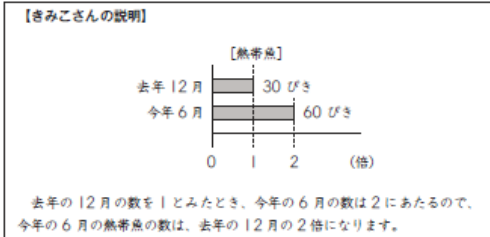
R5

市 : 21.7

府 : 24.4

① 数量の関係を捉えて説明する ※4年生の学習内容

2 (3) テーブル図をもとに、メダカの数について文章で説明



市 : 54.8 府 : 54.9

条件2つを満たして記述 (正答) : 40.9

条件1つのみ記述 (準正答) : 13.9

類似問題

R6 市 : 33.9 府 : 37.8

R5 市 : 11.0 府 : 12.7

グラフや図を活用して、根拠を示しながら考えたり説明したりする場面を設定できているか？

データの読み取りに加え、目的等に応じて、グラフや表にまとめる場面を設定できているか？

理科（5年生）

大阪の小学生が特に苦手としている領域を中心に出題

分類・区分別集計結果

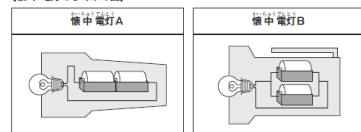
分類	区分	対象 問題数 (問)	平均正答率 (%)	
			交野市	大阪府
学習指導要領の領域等	全体	12	55.9	59.8
	エネルギー	2	1 51.0	56.8
	粒子	4	67.5	70.1
	生命	1	68.2	69.2
	地球	5	2 46.1	51.0
評価の観点	知識・技能	6	56.7	62.1
	思考・判断・表現	6	55.1	57.6

※ 1つの問題が複数の区分に該当することがあります。

① 直列・並列つなぎについての理解 ※4年生の学習内容

2 (3) 直列・並列つなぎの名称を解答

【懐中電灯のしくみの図】



※使っているかん電池と豆電球は同じものです。

この2種類の懐中電灯は、かん電池のつなぎ方がちがうんだね。

Aは ア つなぎ、Bは イ つなぎになっているんだね。

問1イ ☐ ア ☐、イ ☐ にあてはまる言葉をそれぞれ書きましょう。

市：41.6 府：53.7

ア：直列、イ：並列と解答（正答）：19.9
 ア：直列、イ：誤答と解答（準正答）：21.4
 ア：誤答、イ：並列と解答（準正答）：0.3

類似問題

R5 直列と並列の明るさの違いの理解

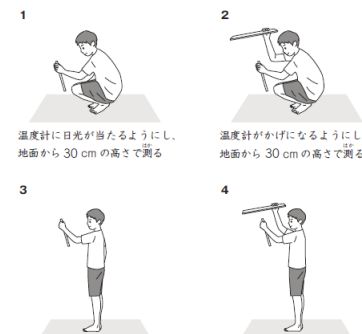
市：15.6 府：27.4

実験や観察を行う際、一人ひとりが体験的に器具や機器を扱う技能を身に付けられているか？

既習内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想する場面や、結果を整理し、結果をもとに結論を導き出す場面が設定できているか？

② 温度計の正しい使い方の理解 ※4年生の学習内容

1 (2) 気温を測る正しい方法を選択



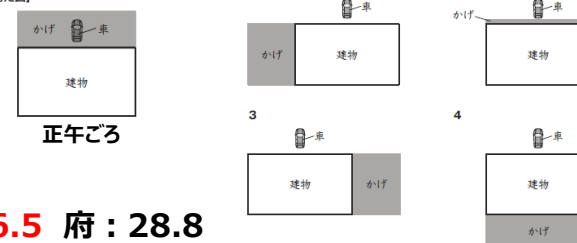
市：44.7 府：55.3

「1」を選択：9.9
 「2」を選択：30.3
 「3」を選択：13.8

② 日陰の位置を予測する ※3年生の学習内容

1 (6) 正午ごろのかげの図をもとに、午後6時のかげの位置を選択

【建物と車を上から見た図】



市：26.5 府：28.8

「1」を選択：19.6
 「2」を選択：14.7
 「4」を選択：37.9

類似問題

R6 太陽の沈む方向の理解

市：39.9 府：40.4

わくわく問題（5・6年生）

文章や図・表・グラフ・ホームページ等を読んで、自分の考えを書く問題

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 問題数(問)	平均正答率(%)			
			5年		6年	
			交野市	大阪府	交野市	大阪府
	全体	9	66.0	66.5	76.3	75.1
観点	A 図や表、グラフ、短い文章、会話文等に示された内容を関連付けて、正しくとらえる。	6	69.7	70.4	79.8	78.3
	B 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える。	4	67.4	66.6	75.1	74.0
	C 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに新たな課題を考える。	1	57.8	57.1	66.3	66.7
	D 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに自分の考えをまとめ、伝える。	3	66.8	67.7	77.4	77.0
	E 興味・関心のある事からについて、意欲的に工夫して相手に伝える。	1	57.8	57.1	66.3	66.7
問題を とらえる	文章から読み取る	7	68.0	69.1	79.2	78.1
	会話から読み取る	2	59.1	57.4	66.5	65.6
	図や表から読み取る	7	68.3	69.3	79.2	78.2
伝える	資料の情報を整理して伝える	8	67.0	67.7	77.6	76.2
	自身で考えたことを伝える	3	66.8	67.7	77.4	77.0
	理由や根拠を明確にして伝える	2	69.4	69.8	78.9	78.1

※ 1つの問題が複数の区分に該当することがあります。

① 内容を正しく捉え、自分の考えをまとめ伝える

1 (3) 目的にあう自分の考えを理由とともに伝える

【パルプモールド容器の特徴】

立体的で複雑な形や頑丈なつくりにできますが、水にぬれると容器の形が変わってしまうことがあります。また、目的の形の金属の型を作るのに費用がかかるため、プラスチック容器に比べると価格が高くなります。

植物や資源ゴミとして回収された紙等を使って作るため、自然のはたらきで土にかえります。



【プラスチック容器の特徴】

容器を透明なものや色のついたものにするなど、使い道によって変えることができますが、熱や衝撃で容器が変形してしまうことがあります。また、大量に生産することができ、パルプモールド容器に比べると安く作ることができます。

プラスチックは、自然のはたらきで土にかえることはなく、プラスチックのまま残り続けます。



【5年】市：81.0 府：82.4 【6年】市：91.6 府：89.6

条件3つすべてを満たして解答（正答）：【5年】34.7 【6年】48.3

条件不十分（準正答）：【5年】46.3 【6年】43.3

① 新たな課題を考え、まとめ伝える

3 (3) アイデアを具体的に伝える

問「みんなが気持ちよく過ごすため」に、あなたならナッジの考え方を生かしたどんな工夫を提案しますか。次の【条件】に合わせてかきましょう。これまでに紹介された例を参考にしてもかまいません。

【条件】○【ねがい】のらんに、みんなが気持ちよく過ごすために、みんなにしてほしいことを1つ書きましょう。

○【工夫】のらんに、【ねがい】をかなえるために、どうするのかを言葉や絵を使ってかきましょう。

○【みんなの行動が変わる理由】のらんに、なぜその【工夫】でみんなの行動が変わるのかを文章で書きましょう。

【5年】市：57.8 府：57.2

【6年】市：66.3 府：66.6

条件3つすべてを満たして解答（正答）

【5年】46.3 【6年】59.6

条件不十分（準正答）

【5年】11.5 【6年】6.7

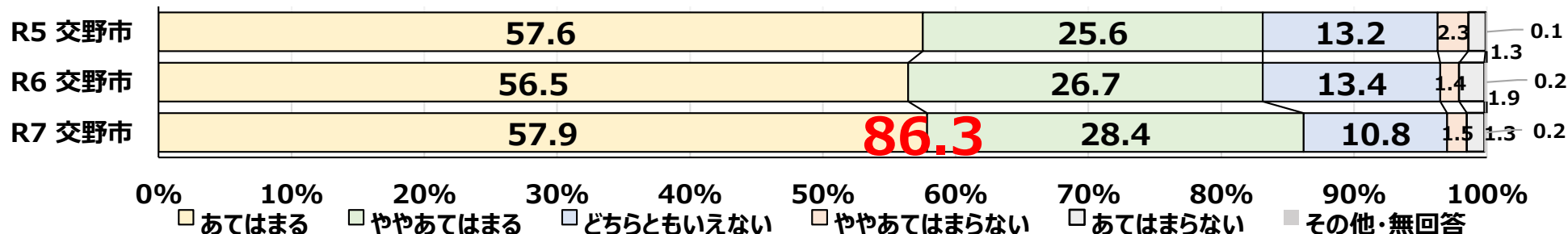
考えたことや感じたこと等を表現する場面において、条件を示したり、資料を活用させたりするような課題を設定できているか？

既習内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を発想する場面を設定できているか？

市学力向上プラン 学びあう集団・学習環境づくり に関連する項目

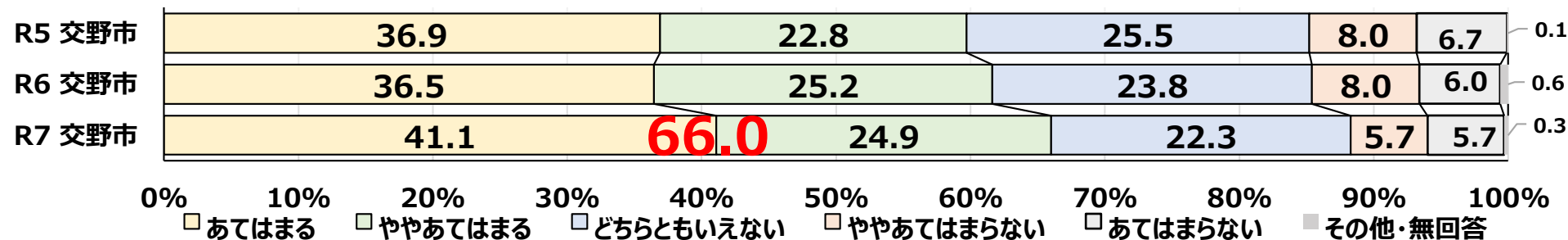
■ (32) あなたの学級は、友だちのよいところを互いに認め合える

R7大阪府 肯定的回答 85.2%



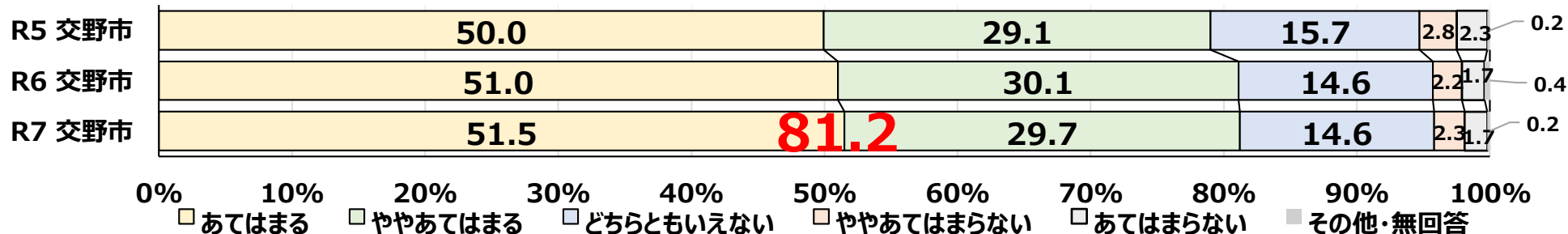
■ (33) あなたの学級は、授業中まちがっても笑われない

R7大阪府 肯定的回答 61.7%



■ (34) あなたの学級は、協力的である

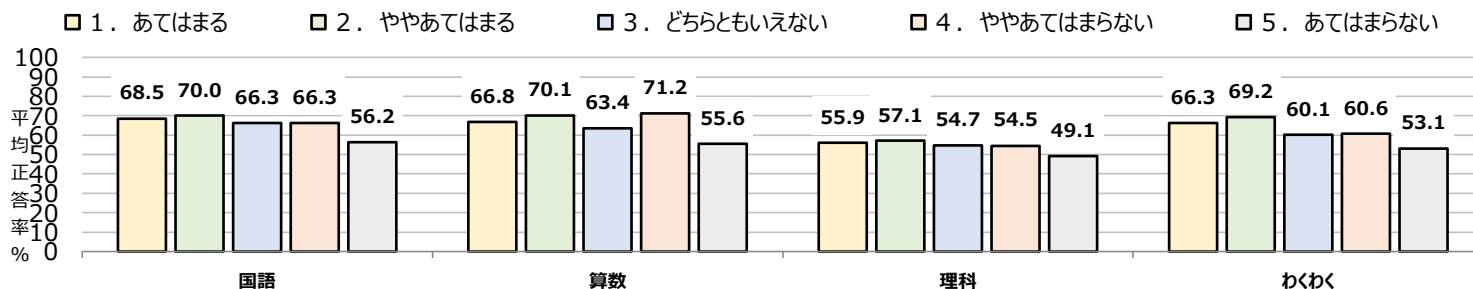
R7大阪府 肯定的回答 81.8%



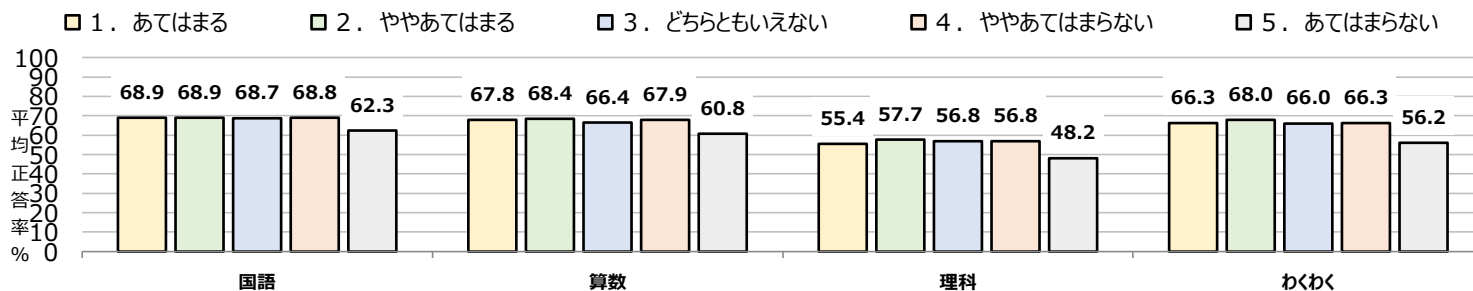
市学力向上プラン 学びあう集団・学習環境づくり に関連する項目

※グラフは、すべて5年生の結果

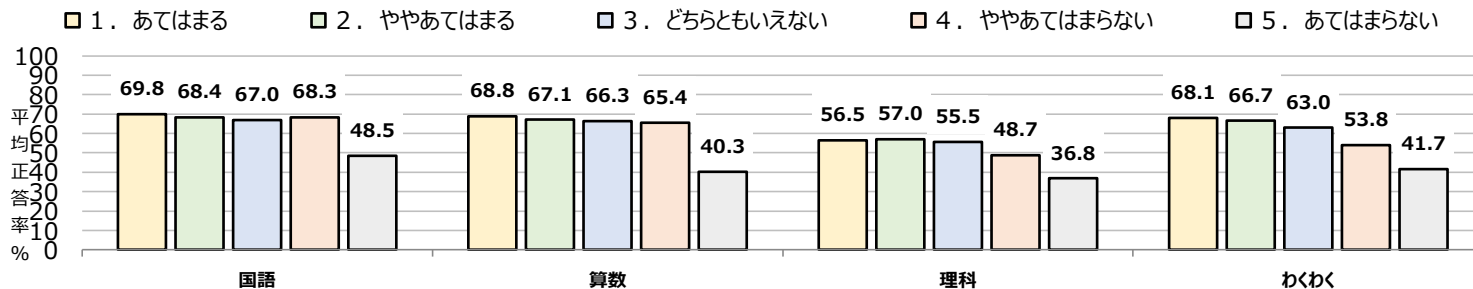
■ (32) あなたの学級は、友だちのよいところを互いに認め合える



■ (33) あなたの学級は、授業中まちがっても笑われない



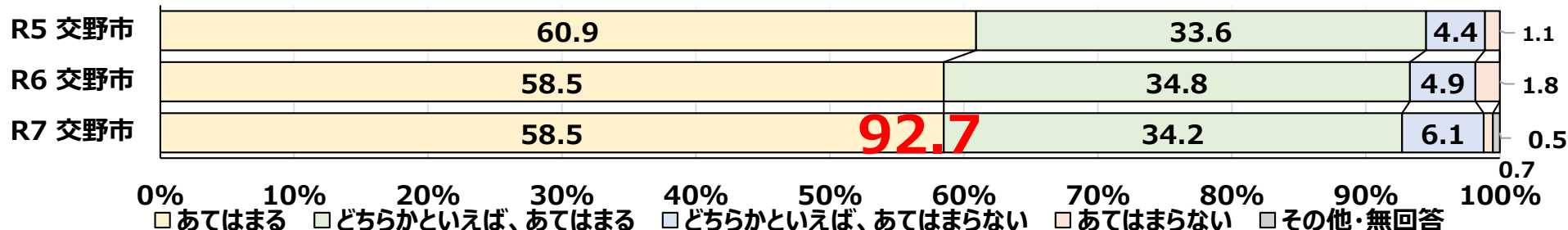
■ (34) あなたの学級は、協力的である



市学力向上プラン 子どもたちが力を“活かす”授業の実践 に関連する項目

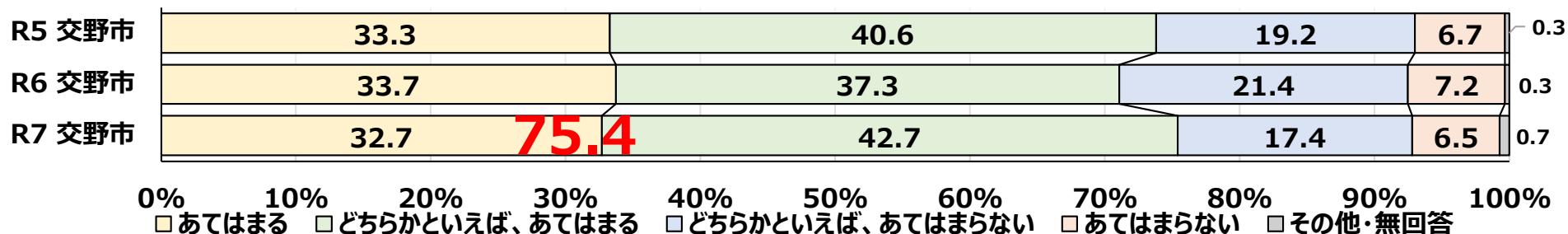
■ (48) 話し合いをするとき、友だちの意見を最後まで聞いている

R7大阪府 肯定的回答 94.2%



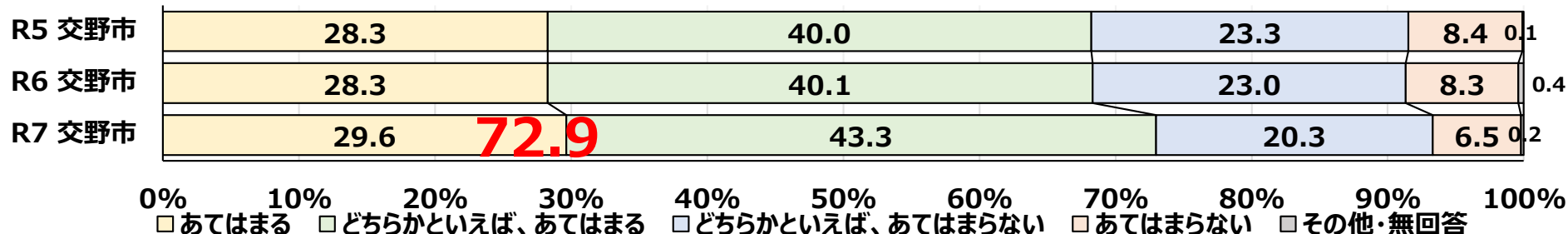
■ (49) 話し合いをするとき、自分の意見と他の人の意見を比べている

R7大阪府 肯定的回答 76.1%



■ (50) 話し合う場面で自分の考えを深めたり、広げたりしている

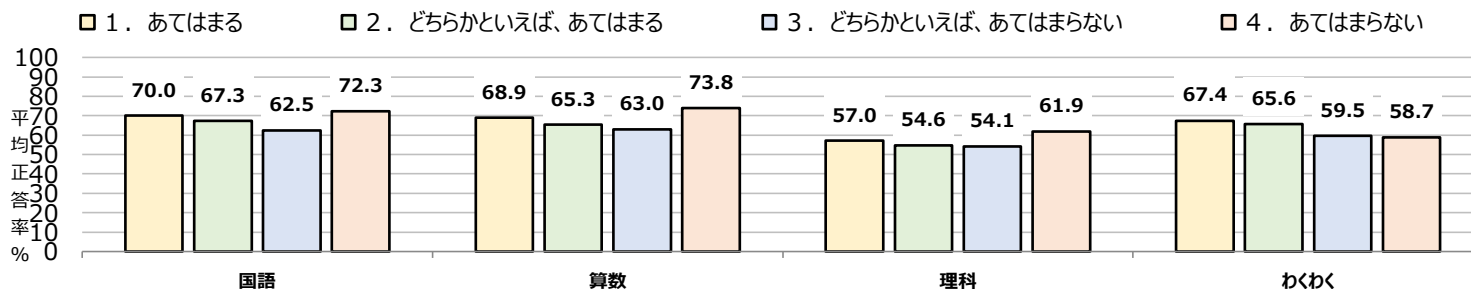
R7大阪府 肯定的回答 72.0%



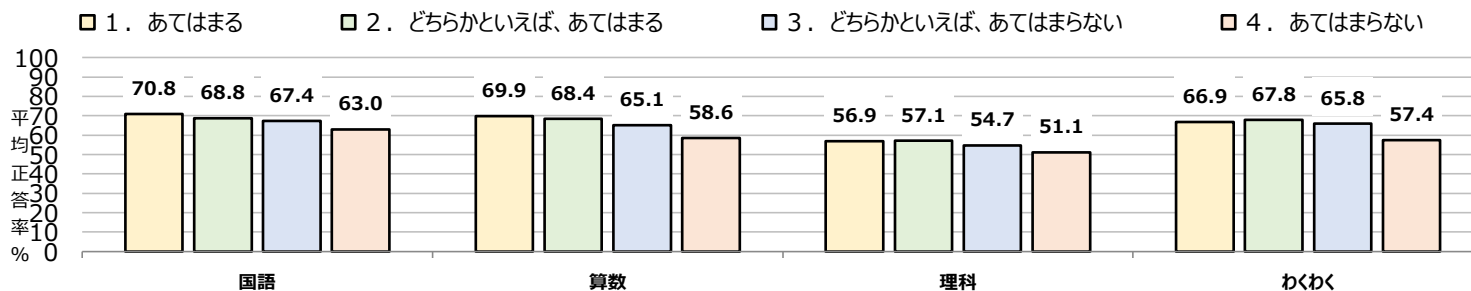
市学力向上プラン 子どもたちが力を“活かす”授業の実践 に関連する項目

※グラフは、すべて5年生の結果

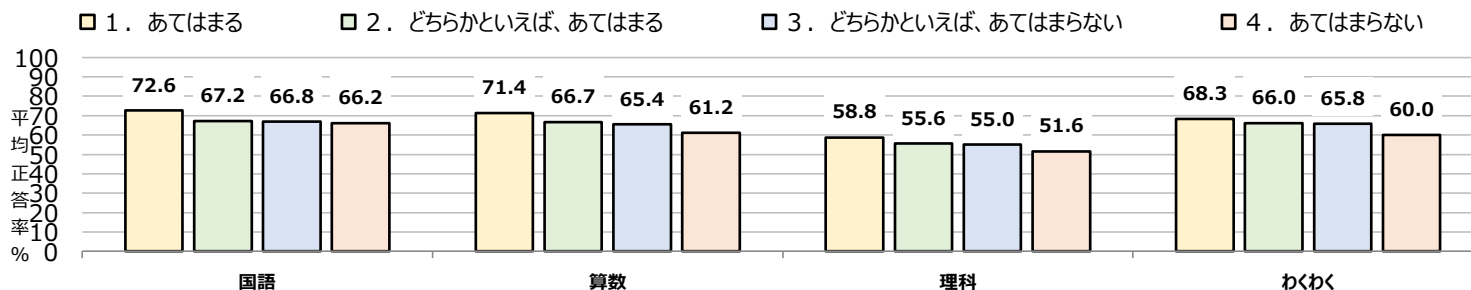
■ (48) 話し合いをするとき、友だちの意見を最後まで聞いている



■ (49) 話し合いをするとき、自分の意見と他の人の意見を比べている



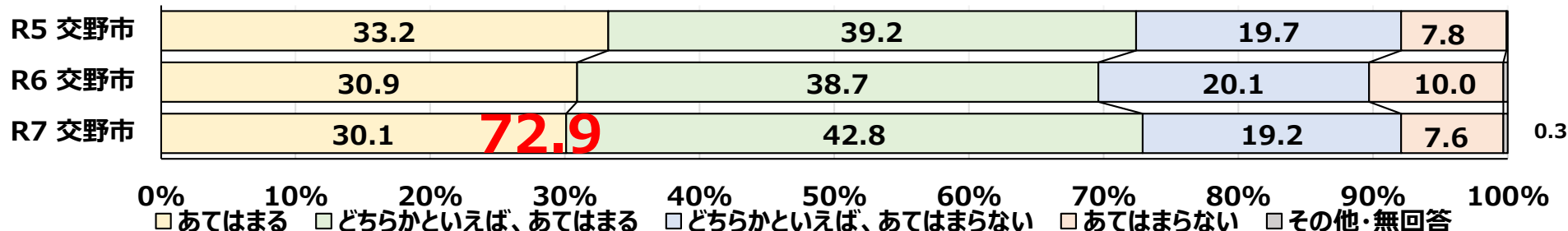
■ (50) 話し合う場面で自分の考えを深めたり、広げたりしている



市学力向上プラン 子どもたちが力を“活かす”授業の実践 に関連する項目

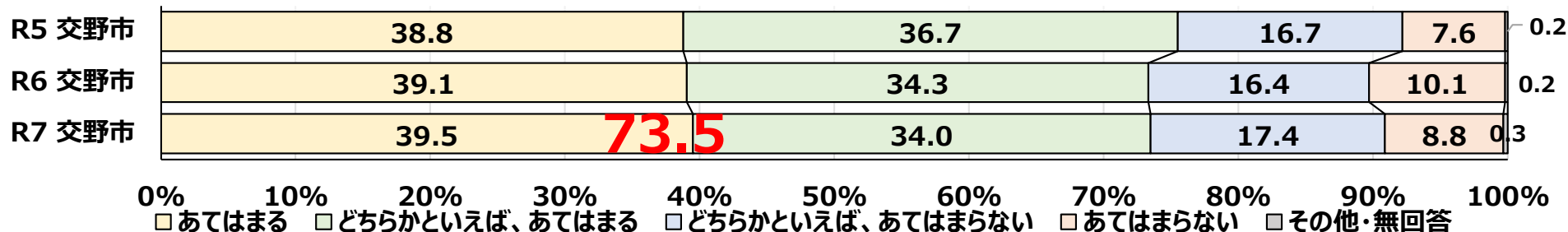
■ (43) 文章を読むとき、どこが大事なところか考えながら読んでいる

R7大阪府 肯定的回答 74.7%



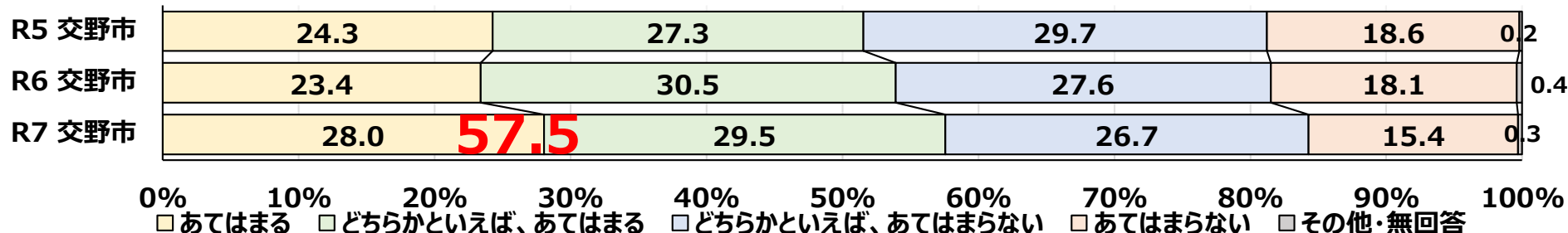
■ (46) 先生や友だちが話していることで、大事だと思ったことをノート等にも書いている

R7大阪府 肯定的回答 75.2%



■ (47) 自分の考えを積極的に発言している

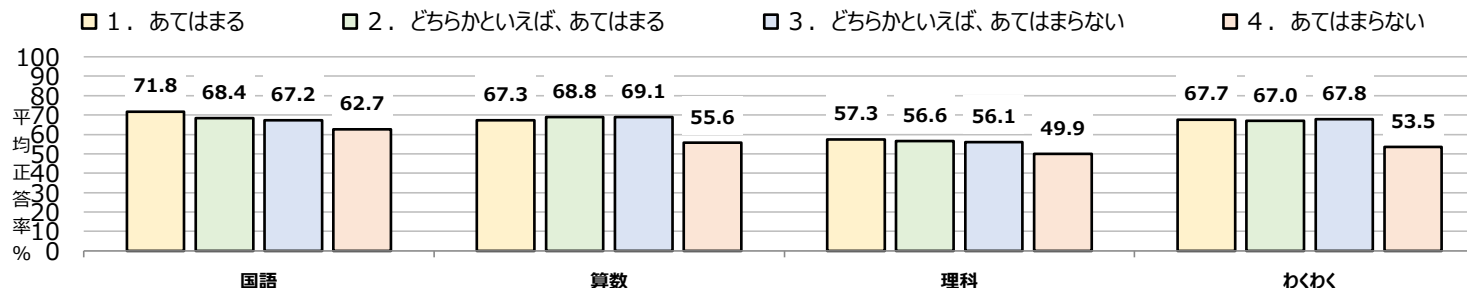
R7大阪府 肯定的回答 58.5%



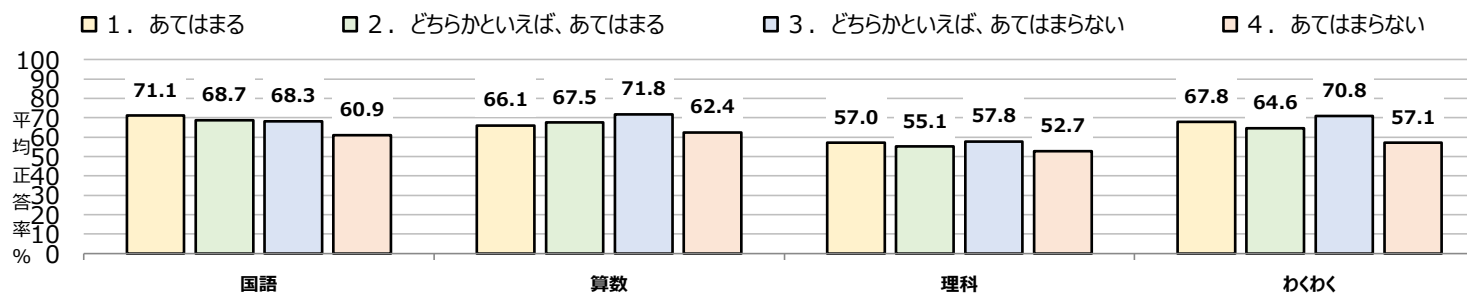
市学力向上プラン 子どもたちが力を“活かす”授業の実践 に関連する項目

※グラフは、すべて5年生の結果

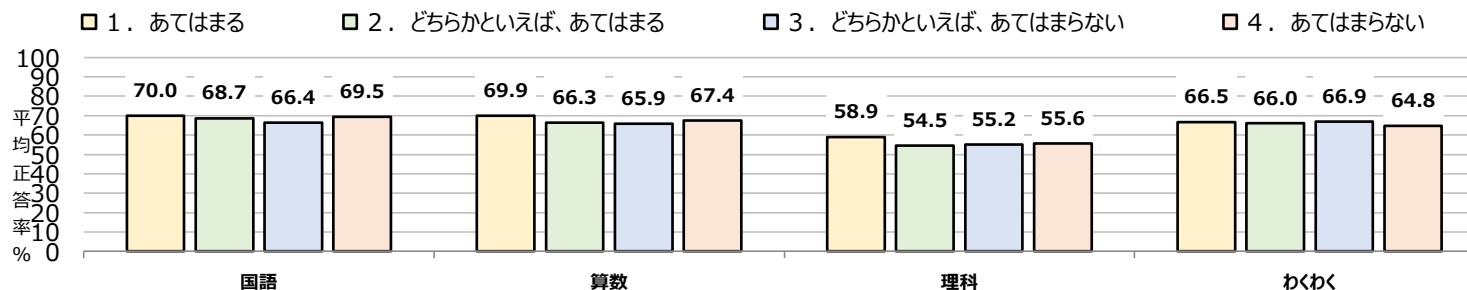
■ (43) 文章を読むとき、どこが大事なところか考えながら読んでいる



■ (46) 先生や友だちが話していることで、大事だと思ったことをノート等にも書いている



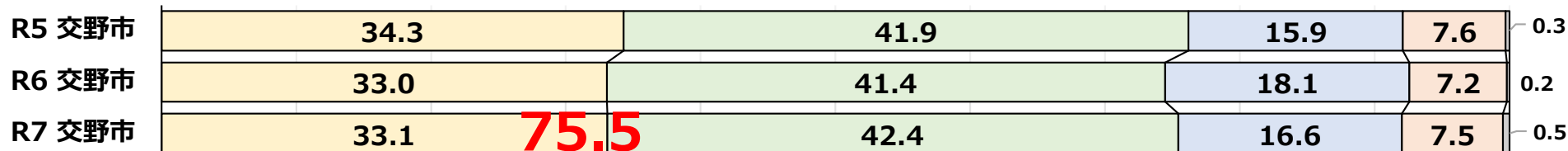
■ (47) 自分の考えを積極的に発言している



市学力向上プラン 家庭学習の充実 に関連する項目

■ (51) 授業で学んだことを、ふだんの生活にいかすようにしている

R7大阪府 肯定的回答 77.1%

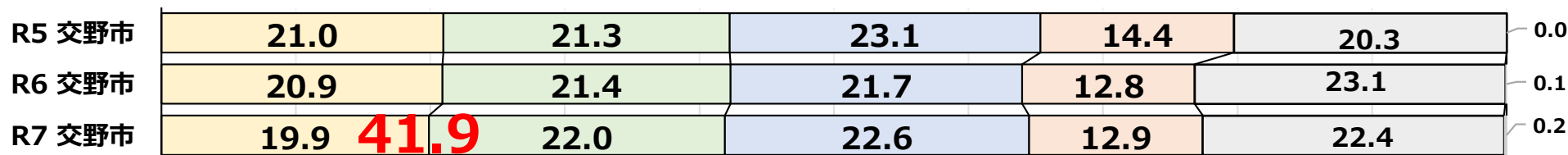


0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

□ あてはまる □ どちらかといえば、あてはまる □ どちらかといえば、あてはまらない □ あてはまらない □ その他・無回答

■ (56) 自分でやりたい学習内容を考えて、家で勉強している（宿題は除く）

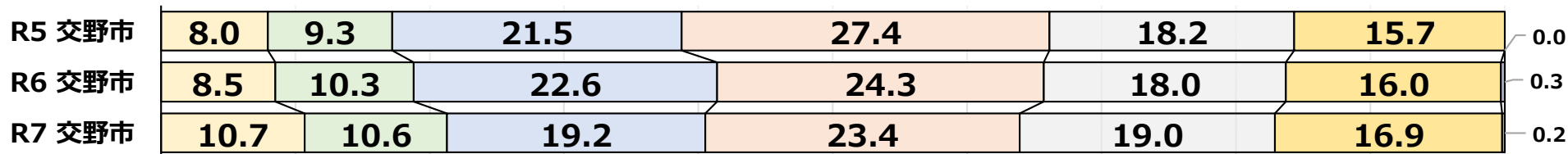
R7大阪府 肯定的回答 45.5%



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

□ あてはまる □ ややあてはまる □ どちらともいえない □ ややあてはまらない □ あてはまらない □ その他・無回答

■ (68) ふだん（月曜日から金曜日）1日に、学校の授業や宿題以外に、およそどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）



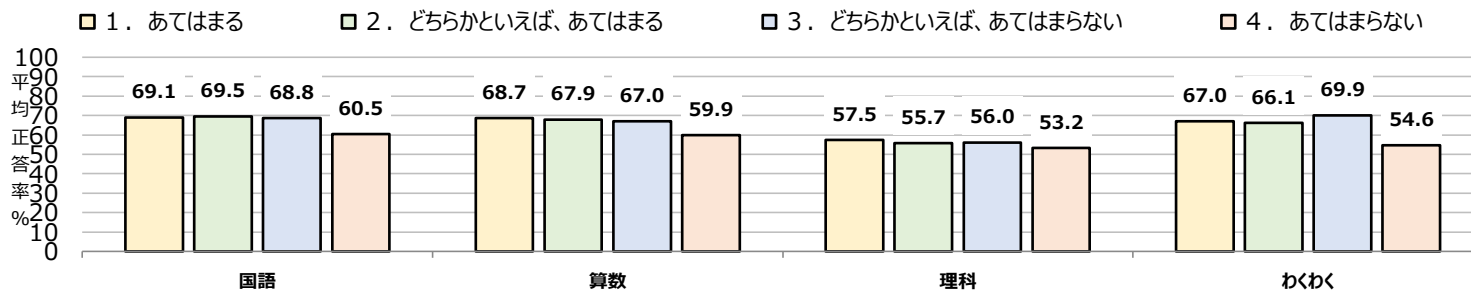
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

□ 3時間以上 □ 2時間以上3時間未満 □ 1時間以上2時間未満 □ 30分以上1時間未満 □ 30分未満 □ 全くしない □ その他・無回答

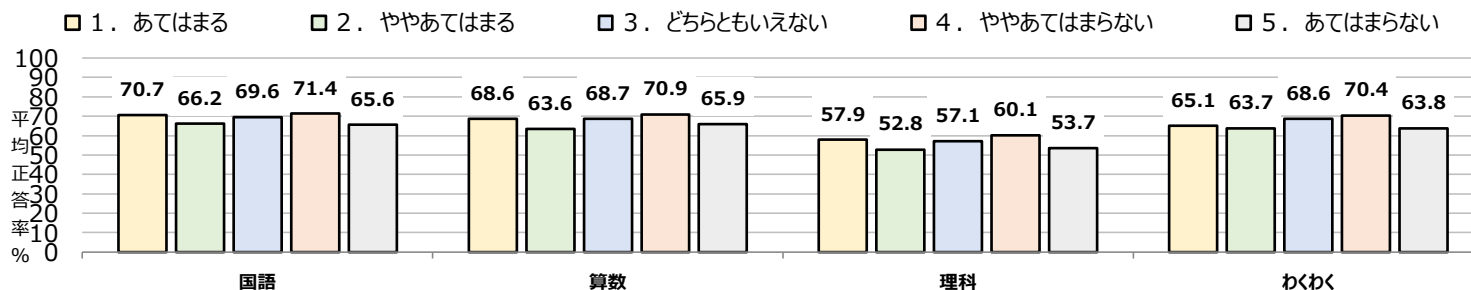
市学力向上プラン 家庭学習の充実 に関連する項目

※グラフは、すべて5年生の結果

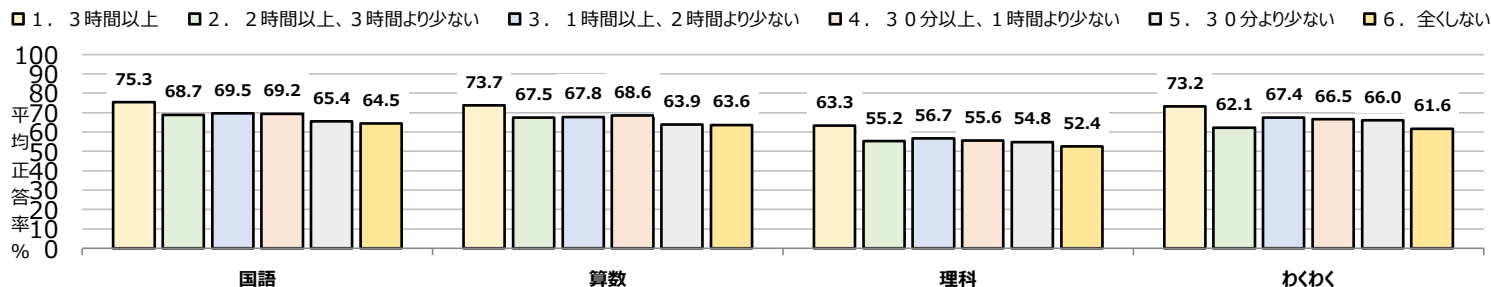
■ (51) 授業で学んだことを、ふだんの生活にいかすようにしている



■ (56) 自分でやりたい学習内容を考えて、家で勉強している（宿題は除く）



■ (68) ふだん（月曜日から金曜日）1日に、学校の授業や宿題以外に、およそどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）



調査結果を踏まえた改善に向けた指導例

意図的・継続的な学習活動を展開し、
児童が“学び”を実感できる授業づくりを進める

●【国語】光村図書

修飾語の学習（3年） … 教科書3ページ分

ことわざ・故事成語の学習（3年） … 教科書2ページ分

主語・述語の学習（2年） … 教科書2ページ分

※1年：「が」「は」「を」「へ」の使い方、「」の使い方

2年：いつ・どこで・どんな人が・どんなことをしているか はじめ・中・おわりの組み立て

4年：「つなぎ言葉（接続詞）」のはたらき

- 授業における読み書きの場面において、教師が意図的に主語や述語、修飾語に着目させる発問をする。
- 児童が文中の主語と述語を色分けする作業をしたり、主語と述語の関係に着目して文章を添削したりする活動を行う。

●【算数】

- 「データの活用」について、算数科においてグラフを読み取ることや書くことを学習した後、例えば社会科や理科など教科横断的に、調べたことや観察したことをグラフにまとめる学習活動を通して、児童が目的に応じて情報を整理できるようにしていく。
- 児童が考えたことや学習して分かったことを文章で表現し、児童間で伝え合ったり、文章を読み合ったりする場面を、単元を通して適切に設ける。

●【理科】

- 生活経験と結びつけやすいと捉えられる問題（1-(5)、2-(1)）は比較的正答率が高い。
- 児童が生活経験や既習の内容を基に根拠のある予想や仮説、さらには観察や実験の方法を発想する場面を設定する。
- また、観察や実験後には、児童自らが結果を整理し、結果を基に結論を導く場面を設定する。